



『読売新聞』
(2018年5月3日付)

「カヨ子基金」

代表 岩村 義雄

2018年5月3日の『読売新聞』は、次のように紹介しています。「持ち込んだ米や粉ミルク、文房具などを配ると、子どもたちは目を輝かせて集まりました。『独り占めする子はおらず、みんなで分け合っている姿に胸が熱くなった』と振り返る。……帰国後、すぐに募金活動を開始。1か月後には再び現地に渡り、子どもたちの世話を任せられる現地人を探すなどして準備を進めた。建設資金の約200万円が約3か月で集まった」。

日本人は、貪欲、権力、一時的な享楽に振り回されないような価値観を吟味する時ではないでしょうか。戦地、被災地、辺境地において、学校に行くこともできず、空腹や病気に苦しむ子どもたちがいることに目



「里親」募集のチラシ

を閉じ、耳を傾けず、無関心であっていいものでしょうか。たとえどんな国に対しても国境を閉ざしてはなりません。国境を渡河するボランティアが産み出されています。

神戸国際支縁機構のボランティアに参加した若者たちは孤児、戦争や被災により、夫をなくした独身女性、難民に寄り添うため、神戸国際支縁機構のボランティアに参加した若者たちが諸外国に自分の貯めたお金で諸外国に単身出かけています。

子ども達が自立できるようになるまで、あなたの家族に加えてください。現在、バヌアツ、ネパール、ベトナムなど36名の孤児が「カヨ子基金」で通学できるようになったことで喜ばれています。(2018年5月1日現在)。

海外の孤児のために、1年でも、

最近の機構の英語名がKobe International Sustaining Organization になっているのはどうしてですか、と問い合わせが事務局に寄せられます。

Supporting より Sustaining に変わった理由：

2015年のバヌアツにおけるサイクロン「パム」以降、海外ボランティアに仕える時、国連などのように財源を豊かに提供できていないこと、機構の取り組む分野が「寄り添う」ことが中心だからです。「support」は主に物質的な支援の

ニュアンスの方がつよいのです。「sustain」には「元の姿を無傷で保てるように support する」の意味合いが含まれます。国境を越えて、自然災害、紛争のゆえに、抑圧されている人たちに仕える働きを考慮しますと、「心身の弱っている人たちに寄り添う」ボランティア道に合致していると理事会は判断しました。2017年9月のネパールの孤児の家オープニング・セレモニー以降、「sustain」が使われるようになっていきます。2011年に、「支援」から「支縁」に変わった経緯が、遅ればせながら英語表現にも及んだとお考えください。なお、略称「KISO」は従来通り、変わっていません。

2年でも、毎月3千円を、お近くの郵便局で自動引き落としなさってください。里親になるために、特別な資格はいりません。学校に行けない子どもの養育に温かい心を形になさ

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151 (代表)

MiYOSHi
ミヨシ石鹸株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

83回目の東北訪問、幼稚園で餅つき大会

代表 村上 裕隆

機構はこれまで一度も宿、ホテルに泊まることなく、空手道場で寝袋を敷いて宿泊させていただいています。小野寺館長のご好意でうすを道場から幼稚園に運びます。

餅つきをする前には、両親や地元の人たちを前に、年長組全員で手話を交えての実演も。1年でこんなに成長した陰には、後藤竜記園長、奥津恵教頭たち多くの教師たちの、ひたむきな教育者としての献身的な情熱と使命感がありました。当日朝は雪模様でしたが、餅をつき始めるころには晴れ渡りました。寒風もまったく気にしない園児たちの「べったん、べったん」という大きな掛け声が、渡波地区の空いっぱいに響き渡りました。神戸から参加した石黒義正さんも餅つきのベテランです。

年長組の園児たちとは、春の田植えから秋の稲刈り、脱穀、収穫祭、そして餅つき大会まで、1年を通して触れ合ってきました。昨年春に出会ったときは「例年の園児たちより一回り幼く見えた」印象でしたが、会う度に成長していきました。園児たちからのサプライズもありました。年長組の園児たち41人が、一人一人



餅つき大会

心のこもった絵手紙を機構に贈ってくれました。

機構は3・11以降、「縁（人とのつながり）を支える」という意味を込め、名称中の「支援」を「支縁」に変えました。私たちと園児たちと築いた『縁』が、いつまでも虹のように良い思い出となり、学校生活や思春期、受験などで困難にぶつかるとき、共にした体験が生かされるようにと願います。



『広島愛児園熊本地震報告集』

熊本・大分地震、避難場所であった益城町の愛児園が報告書を発刊 2018年4月14日

本文から岩村義雄会長の報告を抜粋

その夜、16日午後1時25分ごろ、マグニチュード7.3の「本震」が襲いました。二度目の自身で益城町の1万312棟のうち損壊を免れたのは157棟だけ、熊本・大分地震で死亡した9人の内8人が益城町で犠牲になりました。16日夜、広島愛児園を目指して、神戸から看護師2名を含む計10名で現地入りしました。……4月17日朝食には、500人以上の人たちに温かい汁物を提供させていただきました。列が100メートル近くになり、一時間もお待ちいただくことになりました。

初めて地球を一回りした日本人

「石巻若宮丸物語 ②」

阿部 和夫

プロフィール

1938年宮城県石巻市生。石巻小学校校長1999年退職。石巻市教育委員会教育長（1999～2008）。

イルクーツクで日本人との出会い

オホーツクに滞在していた漂流民の一行は、望郷の念止み難いものがありました。帰国を具体化するためには、この地に居るより、シベリア第一の都市イルクーツクに移動するのがよいことを土地の役人から勧められます。折よくその地の役人がイルクーツクにもどることになり、先ず三人だけを同行することになりました。ロシア側は善六を指定し、外の二名は日本側で人選してよいことになり、儀兵衛と辰蔵に決まりました。善六は、ロシア語を理解できるようになっていたのでした。

最後の一七九五年八月にオホーツクを出発しますが、機で一八〇日程かかる道のりで翌年一月イルクーツクに着きます。第二のグループは、五月に左太夫をリーダーに五人が出発、そして二か月遅れて津太夫等七人が出発しました。その中にいた市五郎は、ヤクーツクを前にして腫物が出て高熱に苦しめられました。ヤクーツクに着くと病院に入院して治療をしますが、その甲斐なく三才の若さで亡くなってしまいました。仲間から二人目の死者が出てしまいました。

最後のグループがイルクーツクに着いたのは、善六等の第一陣が着いてからほぼ一年も経過した後のことでした。

イルクーツクに着いた一行にとって、嬉しい出来事がありました。思いがけなくも、二人の日本人と出会いました。信蔵と庄蔵です。二人は伊勢国白子浦の神昌丸の水主でした。神昌丸は、大黒屋幸太夫等十七名を乗せ江戸に向けて出帆しますが、遭難しロシアに漂着しました。その漂流民は、ロシアの対日政策のおかげでラクスマンに連れられ大黒屋幸太夫外二名が帰国出来ました。しかし信蔵と庄蔵は、ロシア正教に改宗して、信蔵はニコライ・ペトロヴィチ・コロトウイギン、庄蔵はフィヨドル・ステパノヴィッチ・シニコフと言う名のロシア人になって日本語学校の教師をしていました。そのため帰国は出来ずロシアに留まっていたのです。

若宮丸の漂流民にとって、日本語を話すニコライ信蔵、フィヨドル庄蔵と出会えたことは、大きな喜びでした。自分達の話す内容が確実にロシア側に伝えて貰えたのです。

しかし、二人との出会いは、決していいことだけではありませんでした。（以下次号）

法律相談初回無料。
お気軽にご相談下さい。

シャローム総合法律事務所

みやなが たかし 弁護士 宮永亮史
まつだ やすお 弁護士 松田康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14
☎0120-997-181
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

創業明治30年 おかげさまで創業 120年

神戸且月堂

URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

SERVING MANKIND

Humanity First

「ヒューマニティファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会

KINSAN 夢に近づく 夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019

居場所がない人たちと「共生」

楠元留美子（第36次）

「ちょうど、今『ひとつ』をパソコンで聴いていたところですよ」と。3・11の三回忌を前に、当機構に電話をかけたときの岩村理事長の言葉です。『静かなるアフガン』をラジオで聴いたのをきっかけに、長淵ファンである私は、多少の躊躇の気持ちも吹き飛び、ボランティアの申し込みをしました。関東に住む息子が週末に気仙沼、陸前高田などへボランティアへ出かけていたのでも行きたい旨、伝えると「関西からもボランティアバスが出ていますはずだから捜してみ！」との事。携帯であ

ちこち検索してたどりついたのが機構でした。炊き出しが東北での路上生活者との出会いをきっかけに神戸でもはじまりました。4月で5年目に入りま



東遊園地（神戸市役所隣）
左端楠元留美子 2018年4月26日

「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる者」を「路上で生活をしている人」と規定しました。（法第2条）。国連は、居住保障に関わる国際人権文書 1969年国連総会は、社会進歩及び発展に関する宣言を採択し、すべての人民及び人間が尊厳と自由のうちに生きる権利及び社会進歩の成果を享受する権利を有する、と宣言しました。つまり、公園、道路、駅などの路上生活者を強制的に排除してはならないのです。

神戸市の「路上で生活をしている人」の人数は2000年に355人いました。7分の1の52人にまで減っています。全国、兵庫県内も同様に減少しています。2016年、生活保護適用された人々が兵庫県で637人います。つまり、家に住めるようになり、毎月12万円支給を受け取っ

たから、路上生活者が減っていると考えるはいいかもしれません。神戸市小野浜の週3回の炊き出しには150人近くが並びます。

神戸市小野浜の炊き出しに週3回並ぶ人々の多くはギャンブル、アルコール症にさらされます。支給された12万円も家賃に相当する約3万円を支払い、残りのほとんどを約1週間で失ってしまいます。一銭も残っておらず、食べるものを買うことすらできないで残りのおよそ3週間を空腹でさまようのです。依存症の人々はお金をなかなか残すことができません。

住居ではなく、ネットカフェで暮らす30代の若者も増えています。2018年1月末に、東京都にはネットカフェで寝泊まりしている人が毎日4000人いることを発表しました。敷金、礼金、払い続ける家賃など持ち合わせていないのです。生活力がありません。

住民票なし、実績なし、過去歴のゆえに、ハローワークに行っても、仕事に就けない「路上で生活をしている人」もいます。神戸市に約30人います。機構は生活保護を月12万円も支給されている人たちではなく、いっさい無給の人たちに寄り添っています。一週に一食を食べることができればそれで満足しておられます。神戸フィラデルフィア教会の台所を使わせていただいで、出来上がったお弁当を持っていくと「いただきます！」とすぐに食べ始める方々もいます。ほとんどの方は、口数が少ないです。村上代表だけには「待つてました！」とばかりに、新聞や雑誌を片手に熱心に話しかけてくる方もいます。ボランティアは物質提供だけでなく、「対話性」がたいせつなのです。「なぜあなたは遊園地で炊き出しをしていますか」と、問われる時、路上生活者が笑顔をとり戻す場に出会うからです。私が膝痛の時に、「膝の具合はどうですか？」案じて声をかけていただきました。「私は、缶集めのため夜5、6時間、18kmくらい歩きます。だから風邪もひきませんよ」と。そのアドバイスを受け、私も通勤時の自転車をやめて、なるべく大またでスピードをつけて歩くことに切り替えました。すると、正座もままならなかったのが、半年で痛みもほとんどなくなり、スタスタを歩けるようになりました。路上生活者の方々は皆、風邪は

ひかれません。食中毒もしないことを発見し、知的好奇心の強い私は、励まされました。アルコール症やギャンブルとも無縁です。カン拾いや、並び、清掃などの労働をなさっています。阪神・淡路大震災から住みついていきます。そこが「居場所」なのです。にもかかわらず、路上生活者を排除しようとする発想、施策、行為が役所から出ます。野宿者のために財源は、4分の3は国が負担。4分の1は地方交付税で担保されています。つまり10分の10は国から出るにもかかわらず、神戸市など地方は実行性のある施策をしていません。住所不特定な人がいくつでもふえていきやすくなる現状があります。行政が行き届かない人たちと「共生」する炊き出しは続けて行かざるを得ません。炊き出しをするにしても、一円も行政から助成をいただいでいません。ボランティアです。フードバンク関西と協同しているとはいえ、調理、交通費、買い出しなどお力が必要で、調子、金にもならないことをするののか」と問われることがあります。赤字であっても続けるのは「誰一人取り残さない」社会を目指しているからです。だれでもが人として生き続けることができるようになればと願っています。

（一社）神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

●被災地への支援物資もお願いします。

●年会費をお願いします。

会員（年度4月～翌3月）の皆さまには、季刊誌などをお送ります。

●福岡県朝倉市杷木松末への救援金もお願いします。

事務局長 本田 寿久



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

（株）吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田商会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話：0798-38-7560

FAX：0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

（有）吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

青活祭フェスティバル

藤井 真代 (第8次, 26次, 34次, 添え書きボランティア)

2018年2月24日、元町商店街とタイアップして、恒例の青活祭フェスティバルを開催しました。私はヨガ体験教室を開きました。2011年3月以降の東北ボランティアに参加されたみなさんと一年に一回の同窓会ですが、次々と申し込まれるので、ゆっくりと旧交を温めることはできませんでした。県民会館では、機構の総会も同時進行でした。平野昌司神戸市議員も出席なされ、4案件が採択されていたと聞きました。

まだ寒い時候でした。会場といっても商店街の神戸国際支縁機構に割り当てられた長さ10メートルにパイプ椅子を5個×3列に並べた即席のスペースで開始です。アーケードですが、寒風が吹き込みます。しかし、一生懸命指導していますと、はじめてヨガをなさるみなさんも真剣な表情で気温も気になさいません。私が申し上げるとおり、身体を曲げたり、伸ばしたり、楽しそうに集中く



兵庫のシンボル「はばタン」も参加

「バングラデシュの活動」を展示

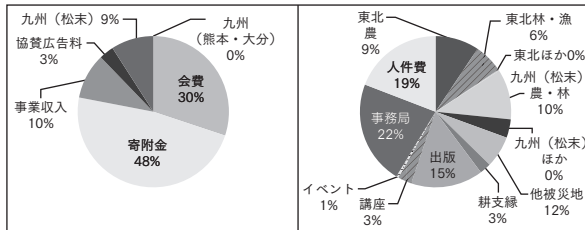
仲井 勝巳 (第29,42次)

小学校の教員をしています。仲井勝巳です。
この冬休みに、バングラデシュの村を訪れ、小学校で日本の歌や折り紙、糸電話を紹介しました。
現地の学校建設のお手伝いも少ししました。
クラスの子がかいてくれたお手紙を渡すと喜んでくれました。
今後も、海外と日本をつなげられるように、自分の経験を教育に活かして頑張りたいと思います。
写真展、絵本作りも視野に入れて活動しています。
よろしくお願いします。



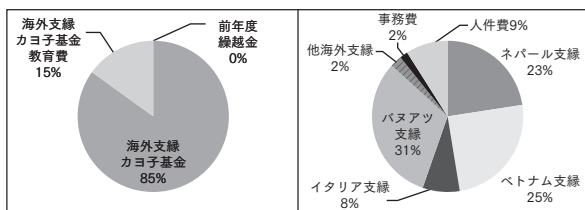
右端 仲井勝巳
右から2番目 重田大輝
左から2番目 藤井真代
左端 岩村義雄会長
2018年
重田大輝 (第17,19次)

2017年度 神戸国際支援機構の国内全部収支



収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
前年度繰越金	39,338	ボランティア東北 農業	746,889
会費	2,394,400	林業・漁業	500,081
寄附金	3,809,700	ほか	19,920
事業収入	776,000	ボランティア九州(松本) 農業・林業	859,138
協賛広告料	250,000	ほか	315,066
九州(松本)	722,000	ボランティア他被災地	541,349
九州(熊本・大分)	0	耕支縁	195,111
		出版	1,232,289
		講座	235,830
		イベント	42,023
		事務局	1,769,541
		人件費	1,530,000
年度収入計	7,952,100	次年度繰越金	4,201
計	7,991,438	計	7,991,438

カヨ子基金



収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
前年度繰越金	0	ネパール支縁	1,277,716
海外支縁 カヨ子基金	5,122,831	ベトナム支縁	1,407,910
海外支縁 カヨ子基金 教育費	908,000	イタリア支縁	449,267
		バヌアツ支縁	1,776,931
		他海外支縁	144,211
		事務局	97,387
		人件費	510,000
年度収入計	6,030,831	次年度繰越金	367,409
計	6,030,831	計	6,030,831

講座などの案内

●本田哲郎セミナー

毎週第3金曜日 午前10時～正午
神戸市勤労会館 404号室

●山本智也君(初代リーダー)結婚式

5月20日(日) 岩村義雄会長が司式

救援金、維持会費ご協力感谢您します。(敬称略)

2018年1月21日～4月21日

遠藤トシ江、(株)竹中工務店、井元親男、高橋信二(丹波)、岩間 洋、岩間千恵子、日本基督教団神戸栄光教会、ミヨシ石鹸株式会社、玉の肌石鹸株式会社、バルク良品、くまがいマキ、宮坂信章、酒井 彰、酒井久美子、保田 薫、小畑俊子、本田哲郎、川端 勝、鈴木敏夫、松田エツ子、賀内寛太郎、菊池則子、保田 薫、藤丸秀浄(法専寺住職)、濱田和子、本田寿久(4)、木村製治(宮城県石巻市)、観音寺(三鷹市)、春重祺子、さかいようこ、川端勝、鈴木敏夫、宮本博美、有年米子、池永タケコ、石巻地区森林組合、水垣淳、水垣兼子、上原俊基、磯辺基博、山本次子、部落解放同盟兵庫県連絡会、清水富士雄、祐照寺(古川真照住職)、高橋一正(2)、高橋秀典、石川満澄、石川久子、森 祐理、伊藤睦人(福岡県松本)、保田 茂、石黒義正、福井重男(2)、岡崎 孝、金澤和夫、水谷弥生(2)、中道澄春、長浜幼稚園(宮城県石巻市)、小野寺 脩(宮城県石巻市)、重田大輝、「小さくされた人々のための福音」(4)、岩村義雄(5)、神戸国際キリスト教会、有限会社吉田興業 吉田 明、青活祭フェスティバル、小野 奨、吉保正光、神戸キリスト教書店、北川禮子(宮城県石巻市)、忠内一由、忠内有紀、栗原 健、坪井久子、小島崇文、朴 明子、永野真治、西上千栄子、岡田小百合、柴田正生、垂水朝禱会、白瀬小一郎、阿部純子(宮城県石巻市)、KISO 牧場、中山敬一郎、小島千鶴、鶴崎祥子、左成和朗、千葉幸一(宮城県石巻市)、高島邦夫、河内常男、松村淳子、吉永輝次、匿名

720,833 円

フードバンク関西、コストコの装飾品を感謝します。

カヨ子基金

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、遠藤トシ江、沖縄バプテスト連盟ルア教会、井元親男、菊池則子(2)、岩間 洋、岩間千恵子、高橋信二(丹波)、濱田和子、日本基督教団神戸栄光教会、木村製治、宮坂信章、坂牧弓絃、春重祺子、兵頭晴喜、藤丸秀浄(法専寺住職)、観音寺(三鷹市)、さかいようこ、松田エツ子、小畑敏子、賀内寛太郎、池永タケコ、有年米子、祐照寺(古川真照住職)、高橋一正(4)、高橋秀典、森 祐理、本田寿久(2)、山本次子、匿名、オリーブの木キリスト教会、石川満澄、石川久子、伊藤睦人(福岡県松本)、福井重男、小野寺 脩(宮城県石巻市)、有限会社吉田興業 吉田 明、青活祭フェスティバル、北川禮子(宮城県石巻市)、吉保正光、忠内一由、忠内有紀、栗原 健、坪井久子、小島崇文、水谷弥生、朴 明子、水谷弥生、岡田小百合、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、垂水朝禱会、白瀬小一郎、KISO 牧場、中山敬一郎、阿部純子(宮城県石巻市)、小島千鶴、鶴崎祥子、高島邦夫、河内常男、松村淳子、吉永輝次

1,518,800 円

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替 口座 00900-8-58077 加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず『国名』を書き添えてください。

「カヨ子基金」

・郵便振替

口座 14340-96549731 加入者名 カヨ子基金

・みなと銀行

明舞支店(175) 普通 3921374 カヨ子基金

・三菱東京UFJ銀行

三宮支店(462) 普通 3422530 Kayoko Fund

・三井住友銀行

神戸営業部(500) 普通 9821847 カヨ子基金

・みずほ銀行

神戸支店(490) 普通 1817303 カヨ子基金